

経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣

衆議院議員

大串まさき

<https://m-ogushi.com> 国政報告

- ☑ 総選挙を終えて
- ☑ 経済産業副大臣に就任
- ☑ 福島の復興に向けて

ゲンロック VOL. 43



大串まさき プロフィール

元 デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣
元 経済産業大臣政務官 元 自民党副幹事長

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒。東北大学大学院修了。IH1、松下政経塾を経てJAISTにて博士（知識科学）を取得。大学准教授の後に現職（5期）。
- ▶ 社会保障・産業政策・デジタル改革等の分野に注力。
- ▶ 家族は妻と2人暮らし+保護猫1匹（三毛猫）。趣味は釣り・絵画・多肉植物など。スポーツは高校まで剣道一筋。好きな食べ物はカレーとラーメン。座右の銘は「威ありて猛からず」。

お問い合わせ先

自民党の党員になって応援して頂ける方、ボランティアとしてお手伝い頂ける方、国政報告会への参加を希望される方など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



動画を配信中!

政策の解説からプライベートまで気軽に見られる動画を「X」「Instagram」「YouTube」で配信しています。右のQRコードからフォローしてください。



総選挙を終えて

5期目をスタート

先の衆議院議員選挙におきましては、小選挙区の議席を落とすことにはなりましたが69,721票という多くの方のご支援を頂いた結果、近畿ブロックの比例代表にて当選を果たすことができました。連続して5期目のスタートを切らせて頂けることになり、改めて地元からの大きな期待をしっかりと受け止めて、責任ある政治を行って参ります。

今回の選挙では、多くの仲間に支えられました。早朝から深夜まで、文字通り身を粉にして多様な活動をしてくださいました。そんな皆様のご努力に応える意味でも、常在戦場で、次の選挙に向けて支援の輪が広がっていくように、しっかりと地元での活動も頑張ってお参ります。



ご支援ありがとうございました。



石破総理の力強い応援。



選挙後の総括もおこないました。

反省点もいくつかあります。これまで社会保障政策を中心に多くの仕事をしてきたつもりでしたが、地元にとっては成果が見えにくかったと感じています。地元に大きな橋を架けたり新たな高速道路を開通させたりとは行きませんが、国全体の制度改革で安心をつくることと併せて、地元の課題解決など地域貢献してきた成果も見える形でお伝えして行きたい思います。

不断の党改革・政治改革を進めます

今回の選挙結果は、自民党にとって大変厳しいものとなりました。政治と金を巡る問題では、まだまだ国民の理解を得ているとは言いがたいです。選挙でも訴えさせて頂いたとおり、初当選以来、無派閥を貫いてクリーンな政治を心がけてきた自民党の政治家として、党改革や政治改革も積極的に進めて参ります。

失った信頼をすぐに取り戻すことは困難かも知れませんが、政治は結果が全てだと思います。しっかりと結果を出して参ります。

一方で、自民党議員の数が大幅に減少したことで、これまで党内で議論されてきた様々な政策課題への取組が停滞する懸念があります。既に、私が事務局長を務めていたいくつかの会議体もメンバーが落選または政府の役職に就いたことで成立しなくなったものもあります。* この点に対しても、政策検討や改革への弊害が出ないように、党や各省庁と連携しながら丁寧に対応していきます。

*自民党では三権分立の立場から、大臣・副大臣・政務官等に就任した場合、その議員は党内の議論での発言が認められなくなります。

経済産業副大臣に就任

総選挙を受けて発足した第2次石破内閣におきまして、**経済産業副大臣**を拝命しました。副大臣はデジタル副大臣に続いて2回目となりますが、所掌範囲も広く、その分、職責も重くなります。経済産業大臣政務官（2017年～2018年）の経験も生かしながら、全力で政策課題に取り組んで参ります。

また、経済産業副大臣と兼務で**内閣府副大臣**も拝命。その所管する任務は、原子力損害賠償・廃炉等支援機構に関する事務、原子力被災者生活支援担当室及び廃炉・汚染水・処理水対策担当室の事務です。他に**GX政策**に関する総合調整及び原子力経済被害に関する事務があります。**原子力災害現地対策本部長**として復興庁と連携しながら**福島に寄り添った復興支援**が大切な仕事になります。

その他、私が所管する当面の重要政策には以下のようなものがあります。

産業政策・中小企業対策

国内投資の拡大や賃上げ促進などは政府の中心的課題でもあります。特に価格転嫁対策や下請け取引の適正化など中小企業対策に関しては、地元企業への貢献もできるかと思えます。地域経済の再生に向けてしっかりと対応したいと思います。その他、次世代半導体の量産化や国産AIモデルの開発利用促進など経済安全保障や新技術への対応も必須の課題です。

GX、エネルギー政策

政府のGXについては、私自身が総合調整の責任者として取り組んで参ります。競争力強化のため脱炭素電源の確保や半導体・AI分野の省電力化も課題です。他に鉄鋼産業や化学工業など需要サイドも一体となった戦略が重要になります。さらに**エネルギー基本計画**やエネルギー、産業構造、市場創造のあり方を**GX2024ビジョン**として取りまとめます。

対外経済政策

グローバルサウス諸国（南半球に位置するアジア・アフリカ・中南米地域の新興国・途上国）との連携強化や**AZEC**（アジア・ゼロエミッション共同体）の具体化など外交政策も重要な課題。厳しさと複雑さを増す国際情勢の中、経済安全保障の観点からも重要鉱物確保や**サプライチェーン**の強靱化・多様化なども重要な課題として取り組めます。

その他、量子、宇宙、ロボット、医療機器など、様々な分野での**スタートアップ支援**にも注力します。これまで取り組んできた雇用政策とのマッチングで、力強い政策を実現したいと考えています。



福島の復興に向けて

福島の復興は我が国にとって最重要課題のひとつです。担当の副大臣として責任を持って取り組みます。現在、大きく分けて**オンサイト**（福島第一原発）と**オフサイト**（被災した地域全体）の取組があります。それぞれが重要で難しい課題でもあります。丁寧な寄り添いながら、一歩ずつ前に進んで行けるように尽力します。

オンサイト

ALPS 処理水の海洋放出

昨年8月にALPS処理水の海洋放出を開始しましたが、同日に中国が日本の水産物に対する禁輸措置をとりました。その撤廃を働きかけるとともに、安全性の確保や風評対策・なりわい支援の継続をおこないます。

廃炉（ALPS 処理水以外）

燃料デブリについては11月7日に試験的取り出しを完了しましたが、今後は分析を進めつつ、中長期のロードマップに沿って、安全かつ着実に進めて参ります。

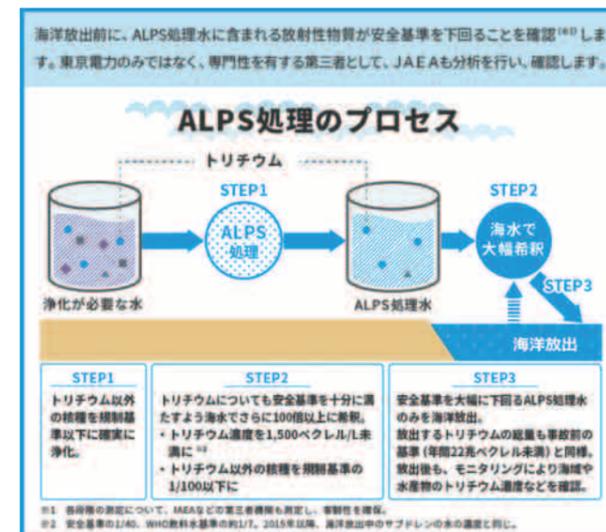
オフサイト

帰還困難区域の避難指示解除

避難指示対象の住民は（最大約16万人から）約8,000人まで減少しました。現在、復興拠点の避難指示解除は完了しています。今後、2020年代をかけて帰還意向のある住民全員の帰還を実現し、将来的には帰還困難区域の全てを避難指示解除できるように取り組みます。

産業復興・町の賑わい再建

避難指示解除の遅れた地域の産業復興はスタート地点に立った段階で、今後は**①事業・なりわいの再建**（相双機構）、**②企業誘致**、**③福島イノベーション・コースト構想**、**④福島新エネ社会推進構想**、**⑤交流人口・関係人口の拡大**などを進めて参ります。



編集後記

選挙を終えて片付けもままならないうちに、経済産業副大臣への就任となり、文字通り慌ただしい日々でした。これまで一緒に仕事をしてきた厚生労働省やデジタル庁の皆さんには申し訳ない感情もあり複雑な気持ちです。また、

これからしっかり地元活動もしなければと気持ちも新たにしたところですが、地元に戻れない場面も増えてしまいます。とはいえ、与えられた仕事でもあり大きなチャンスでもありますので、全力で取り組んで、この日本のために頑張っています。